



5月のえんだより

2024年5月1日 十和田めぐみ保育園

桜も終わりました。子ども達は散った後の花びらでままごと遊びをしています。何でも遊びに取り入れて楽しめるんですね。

端午の節句「子どもの日」を迎えて、元気に泳ぐこいのぼりに負けじと、園庭を走り回ったり、雲梯やゲンキキャビンにのぼって遊んだりする子どもたちです。虫が大好きな男の子たちは、園庭の端っこや、草の葉や根元を覗き込んでアリやダンゴムシ、ツマグロオオヨコバイ(通称「バナナ虫」)探しに夢中です。また広場では、明るい日差しの下、緑の草の中で色とりどりのお帽子をかぶったひよこさんたちが遊ぶ風景が「幸せ」を感じさせます。どのクラスも、天気の良い日はどんどん外に出て、敷地内の自然に触れて遊びを楽しんでいますよ！

さて、新年度も1か月が経ちました。子ども達は新担任の名前を覚えて呼んでみたり、新しいお部屋の好きな場所やお気に入りの遊びを見つけたりして遊んでいます。少しずつ新生活に慣れてきたようです。

こまどりさんたち(3歳児)は、食事の準備や、ジャンパーの脱ぎ着など、生活場面で戸惑いを見せることもあります。そこで大活躍をしているのがうぐいすさん(5歳児)やひばりさん(4歳児)たちです。こまどりさんのお世話をしようと張り切っています。年上の子どもが年下の子に教えたり、年下の子が年上の子を頼ったり真似したりすることで、新たな気づきや成長の機会を得られるのが「縦割り保育」です。お兄さんやお姉さんの「やってあげる」の一声に安心した様子で身を任せているこまどりさんの姿がなんとも可愛らしく、また「僕がやってあげる、私も手伝う」の頼もしい言葉も姿も立派で嬉しいです。それでも、同年齢で集まる年齢別活動になると、こまどりさんたちは少し安心したような表情で遊んでいます。

これから、行事や生活などで縦割り保育の面白さが増えて来るのが楽しみです。子どもたちの良さを引き出せるように導きながら、温かく見守っていきたくと思います。

GW明けには、また登園の時に春の頃に戻ってしまう様子もあるかと思いますが、それも想定内です。すぐに慣れて園生活を楽しめるようになります。

GW 楽しく過ごし、たっぷり愛情を充填して下さいね！



〈ゴールデンウィーク〉

お出かけの予定のある方もいるかと思いますが、楽しい思い出ができる機会ではありますが、休み中のケガや事故には気をつけてお過ごしください。お休み明けは、疲れが出やすかったり、体調を崩しがちになったりするため、無理なく過ごし、睡眠もたっぷりとお休み明けは元気に登園してください。



今月の予定

1日(金) ミニ遠足(大きいクラス)

・緑地公園で、ミニ運動会や昼食を食べて楽しんできます。おにぎり、お箸の準備をお願いします。

11日(土) 保育参観日

13日(月) ケイル先生との活動

15日(水) お誕生会

17日(金) シャンタルさんとの活動

29日(水) 運動会総練習

30日(木) 園児健康診断

☆ 5月は「風」「花」「虫」「野菜」をテーマにして、活動など、楽しく遊ばす！



十和田市は梅雨時期がとても寒いですが、梅雨が終わるまでは、長袖長ズボンもすぐに着せられるように何枚か出して置いて下さいね。梅雨時は暖房を付けることもあるんですよ～～。

保育参観日(5月11日(土))

○ 保育参観時間

ひよこ・かなりや・つばめ・・・9時30分～11時30分

こまどり・ひばり・うぐいす・・・9時30分～11時45分

○ 人数制限はありませんが、園児が活動に集中できるよう、ご配慮をお願いいたします。

○ 駐車場は園庭前の駐車場と第2駐車場(お山前)、第3駐車場(川沿い側)と土地改良区に停めていただけます。

○ 保育参観の詳細は各クラス別紙でお知らせします。

※ お忙しいとは思いますが、ご参加よろしくお願ひいたします。

体調不良の時のお休みのご協力について

新生活の始まりはお仕事もお忙しいことと思います。今は抜けられない！と言う時に限って、お熱が出たり病気をするのが子どもですよね(>_<)特に、集団生活に入ってからすぐの時期は感染症にかかりやすいというデータもあるようです。

職場への気兼ねとお子さんの心配で、保護者の皆様は心も折れそうになるのではないのでしょうか。園からの電話はドキドキですよね！お迎えをお願いする電話の時は、私たちも本当に申し訳なくて、心苦しいです。

小児の病気の 9 割程度が感染症です。子どもは病気をしながら免疫を蓄え、丈夫な体に育っていきます。病気の初期に受診して体を休めるのが、重症化を防ぎ回復を早めると言われています。また、感染の拡大を防ぐためにも、お迎えをお願いすることになります。本当に申し訳ないのですが、なんとかご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

日頃から祖父母にお願いしておく、ファミリーサポートセンターや、東病院の病児保育を利用するなどを検討していただき、それでもどうしてもない時にはご相談下さいね。

施錠のお願い

登園・降園時、門のカギ閉めのご協力ありがとうございます。引き続き、掛け忘れのないよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

めぐみニュース

かわいいつぶやき

花まつり(4月8日)

お釈迦さまの誕生をお祝いする日。お寺では花御堂にまつられたお釈迦さまに甘茶を掛けて、子どもの健康を願うそうです。園でも花御堂を作って、子どもたちと一緒に園庭に咲いているお花を飾ったり、「無病息災」にも繋がる甘茶をお釈迦さまに掛けながら、「ナムナムナム」と手を合わせ「元気、良い子でありますように」と、お祈りしました。お釈迦様が生まれてすぐに唱えた「天上天下唯我独尊」の言葉やその意味を伝えると、子どもたちは、神妙に耳を傾けていました。甘茶もみんなでいただきました。甘茶は子どもたち好みのお味だったようで「美味しかった」と、ニコリ顔の子どもたちでした。

お誕生会(4月17日)

一年に一度、主役になる嬉しい行事です。みんなからお祝いしてもらって喜び感じ、同じようにお友だちを祝う大切さを知ります。また、ステージの上では「名前」「年齢」「好きな食べ物」や「大きくなったら」などを発表(自己紹介)する機会を持ちます。自分の言葉で伝えるのは、ドキドキですががんばって発表します。クラスでも朝の会や遊びの中で、会話ややり取りを楽しみながら、人前で話す自信が持てるよう工夫しています。今回の4月生まれさんたちも、ステージでは立派に自己紹介してくれましたよ。お昼はホールでビュッフェ。この形式の食事が初めてのこまどりさんたちも、嬉しそうに早々と完食してました。

「お当番行ってきます！」

ついこの間まで、手を引かれながら事務室に来ていたひばりさんたちが、今度はこまどりさんの手を引きながら、お当番に来ています。何とも頼もしい姿です。事務室に来たら①挨拶「おはようございます」②クラス名「さくら組です」③人数報告「〇人です」がいつもの流れです。

担任の先生に書いてもらった人数の紙を見ながら、こまどりさんたちは、ひばりさんの言うことを真似てお当番を楽しんでいます。ひばりさんの中には「何人ですか」と聞かれると、こまどりさんの耳元に囁き「〇にんです」と、教えてくれる優しい子もいます。お当番という役割をすると、子どもたちの意識の持ち方も違い、責任感も強く、一生懸命に伝えようとする姿に成長を感じますね。



マルチカルチャー(4月12日)シャンタルさんとの活動

シャンタルさんと一緒にフランスのイースター(パック)を楽しみました。初めにフランスのパックのお話を聞かせてもらいました。フランス中の「鐘」たちが、ローマへ祝福を受けに行き、その帰路で子どもたちにウサギやタマゴ、鶏、鐘といったさまざまな形のチョコを贈るそうです。子どもたちは、イースターと鐘との繋がりを熱心に聞いていましたよ。前回の活動では色を教えて貰いました。今回は、数にも触れ、タマゴの絵の中に、色と数を合わせながらシールを貼って楽しみました。

マルチカルチャー(4月22日)ケイル先生との活動

ケイル先生との活動が始まることを楽しみにしていたうぐいすさんたちでした。ケイル先生の明るく、キュートで元気なノリに引き込まれ、歌やリズム遊びが始まると、楽しそうに真似て歌っていましたよ。今回はイースターにちなんで、3枚の色のついたカードと同じ色のタマゴを探すエッグハントのゲームをしました。3つ揃うと、ご褒美が貰えて、子どもたちは大喜びでした。ケイル先生は日本語を聞き取れるので、子どもたちが話している言葉をキャッチして、英語で言い換えて下さっていました。子どもに教えるのが大好きなケイル先生といろんな国の文化に触れて、世界中の文化に興味関心を伸ばして行ってほしいです。

保護者と担任との親睦会(4月20日)

コロナ禍でしばらくお休みしていた保護者と先生との親睦会を開催できたことを本当に嬉しく思います。3~4年やっていなかったこともあり、人数は少なくとも、ここから始まってくれれば、という思いで、来てくださった方に存分に楽しんでもらおうといういろいろ企画しスタート。子どもたちと普段遊んでいる遊びを取り入れ、たまご探しの容器に自己紹介クイズを入れてみたり、チーム対抗ゲームでは、グループが1つになって大盛り上がりでしたよ。後半は、親御さん自身の話題やお子様の話題などで、あっという間に時間が過ぎていきました。今回は「14-54」さんのピザも話題の一つとなり、お腹も満たされた2時間でした。参加された方々からは、「ぜひまた」「次はもっと誘って参加します」「お酒も・・・」など、次回の開催予定まで話が進みました。次回は夏?秋?を予定しています。たくさんのご参加お待ちしております!!

保育園と小学校が繋げる・繋がる(4月27日)

先日、北園小学校の校長先生はじめ、教務主任の先生や1,2年生の先生と、十和田地区保育研究会の各園の先生方が集まり「アプローチカリキュラム開発のための懇談会」が開催されました。「アプローチカリキュラム」とは、就学前の幼児が円滑に小学校の生活や学習へ適応できるようにするとともに、幼児期の学びが小学校の生活や学習に生かされてつながるよう工夫された5歳児のカリキュラムのことです。厚生労働省の保育所保育指針に示されている『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)』を基本に、各園で子どもたちの育ちを見て、小学校に向けてどのようなことを伸ばしていくとよいかを考えています。今回の懇談会では、各園から園と小学校を繋げるためにどのような取組をしているかを挙げてもらい、それについて小学校の先生方に意見や感想を頂きました。

各園からは、「困った時や、やって欲しいことを言葉で伝える」「自分の言葉で発表できる機会を増やす」「自分のことは自分でできるようにする」「一人一人の得意なところを伸ばし自信を持つ」「ルールを守ることの大切さ」などの課題が挙げられました。小学校からは、「保育園では一番上の年長さんであっても、小学校に来れば一番下として見てしまい、できることも見逃していました。こんなにも園等で取り組みがされていたことに頭が下がります。学校でも今まで積み上げてきたことを繋げられるような対応をしていきたい」というご感想が聞かれました。保育園時代にやっておかなければならないことは、ひらがなを書けるとか、給食のパックを開ける練習ではなく、「自分の好きなことがある」「自分のことは自分でできる」「自分の言葉で気持ちを伝える」と、意欲や幼児期の基本的な生活の態度ができていれば嬉しいと小学校の先生方から伺い、幼児教育の基本と齟齬がないことが確認できました。日々の遊びを楽しむことや、毎日の生活習慣の取り組みが、自然と小学校での充実した学習や生活に繋がっていると改めて実感したところです。ご家庭とも繋がりを持ち、ぜひ一緒に取り組んで行きたいと思えます。